

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	生理学1	講義	4	80	
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸・1年生	鈴木康仁・川口拳・竹村千冬	☐ 有 ☒ 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
現代医学的視点に立脚した身体の機能を理解し、臨床推論(病態把握情報から診断への論理的分析的思考)の礎を養う。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
事前に教科書に目を通し、要約して授業に臨むことを勧めます。 その上で疑問点を抽出し質疑応答・意見交換を積極的に試みてください。 その結果をすぐにまとめなおしたら、暗記するということの繰り返しが大切です。 その覚えたことの応用を問う意味でWeb上に公開されている国家試験の過去問題などを活用することをお勧めします。					
教科書・参考書					
教科書:医歯薬出版 東洋療法学校協会編 「生理学」					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	筆記試験の正答率を成績判定の参考とします。			
その他		臨時に成績判定に組み入れる課題を別途追加して評価割合を変更する場合は事前に告知します。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		生理学の授業について (オリエンテーション) 第1章 生理学の基礎		/	鈴木
2		生理機能の特徴 生命現象		/	鈴木
3		生理機能の特徴 内部環境の恒常性 (ホメオスタシス)		/	鈴木
4		細胞の構造と機能		/	鈴木
5		物質代謝		/	鈴木
6		体液の組成と働き		/	鈴木
7		物質移動		/	鈴木
8		第2章 循環 血液の組成と働き		/	鈴木
9		止血/線維素溶解/血液型		/	鈴木
10		第14章 生体の防御機構 非特異的防御機構(自然免疫) 特異的防御機構(獲得免疫)		/	鈴木
授業外で試験を実施					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		心臓血管系(生理p28～30) 心臓の構造と働き(生理p30～37)		/	川口
12		心臓の構造と働き(生理p30～37)		/	川口
13		血液循環(生理p37～44)		/	川口
14		血液循環(生理p37～44) 循環調節(生理p44～50)		/	川口
15		循環調節(生理p44～50)		/	川口
16		リンパ系(生理p50～52)		/	川口
17		第1章、第2章復習		/	川口
18		第1章、第2章復習		/	川口
19		第1章、第2章復習		/	川口
20		後期試験 解答/解説		/	川口

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		第10章 ニューロンの構造と働き		/	竹村
22		ニューロンの構造と働き		/	竹村
23		静止電位・活動電位		/	竹村
24		興奮の伝導		/	竹村
25		シナプス伝達		/	竹村
26		神経伝達物質		/	竹村
27		中枢神経系の分類		/	竹村
28		反射		/	竹村
29		脊髄		/	竹村
30		脳幹		/	竹村
21～30回は授業外で前期に試験実施					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		小脳・視床・視床下部		/	竹村
32		大脳		/	竹村
33		大脳		/	竹村
34		脳脊髄液 末梢神経系の分類と機能		/	竹村
35		自律神経系の概要 交感神経系・副交感神経系		/	竹村
36		自律神経調節の特徴 内臓求心性神経の働き 自律神経節 壁内神経叢		/	竹村
37		自律神経系の神経伝達物質 と受容体		/	竹村
38		自律神経系の中樞 自律神経の関与する反射		/	竹村
39		自律神経系の関与する反射		/	竹村
40		自律神経系の関与する反射		/	竹村
11～20回と31～40回を授業外で後期に試験実施					